

## 平成23年度「知的財産政策」レポート課題

- 次の問1～問3の中から2つを選択して論じなさい。なお、必要に応じて、以下の参考資料を引用すること。

【問1】知的財産政策の役割について、公共性と知的財産権のバランスの観点から論じなさい。なお、生命科学分野および情報科学分野における事例にも言及すること。

【問2】知的財産政策の課題について、文化・伝統の保護・保全と知的財産権のバランスの観点から論じなさい。また、課題を解決するために必要な政策について考察しなさい。

【問3】知的財産政策の効果について、産学連携の観点から事例を提示して論じなさい。また、産学連携により生じる利益相反や秘密管理の問題について考察しなさい。

(参考資料)

1. G.Hardin, "The Tragedy of the Commons" Science, 162 (1968) P1243  
～P1248
2. Michael A. Heller and Rebecca S. Eisenberg, "Can Patents Deter Innovation? The Anticommons in Biomedical Research", Science, 280 (1998) P698～P701

(レポート形式)

レポートは、1枚目の最初に氏名、学籍番号を記載すること。書式については、A4用紙(縦)に40字(縦)×40字(横)の横書きで作成し、選択した2つの解答を併せて8000字以内にまとめること。ワープロ可。

(レポート提出期限)

平成23年8月10日(水)正午

(公共政策大学院係まで1部、提出すること。)